

導入事例 ▶▶ 目黒星美学園小学校様

違和感を感じないシンプルな環境を念頭に ICT教育に不足を感じない大型タッチディスプレイを導入

目黒星美学園小学校様では、ICT教育の環境強化を検討されていました。iPadを使用したタブレット教育が進んでいく中、iPadの画面を表示する大型ディスプレイ導入の要望が高まっていました。そこで、一般教室20か所に65型と50型のタッチディスプレイを、多目的ホール2か所に85型のタッチディスプレイを設置しました。

目黒星美学園小学校様ではiPadを1クラスの人数にあたる40台導入していました。その中で、活用の一つの形として、モニターにiPadの画面を映し出して利用したいという声が教員から上がりました。しかし、当時使用していたモニターでは画面が小さく、十分に活かせていない状況でした。そこで、大型のディスプレイを導入したいという話を当社にいただきました。

65型タッチディスプレイを提案

導入にあたって最初に考えたのはモニターにするかプロジェクターにするかということでした。プロジェクターであれば大型の画面表示が可能で、設置場所にも問題はありませ

んが、常用のためのシンプルさには欠けます。

そこで、ご提案したのが電子黒板としても使える65型の大型タッチディスプレイです。50型ではまだ小さいという印象だったサイズも、65型にすることでご満足いただけるようになりました。

しかし、65型を採用するにあたって、一般教室では電子黒板としても使用することから天井から吊るすこともできず、台の上に置くには地震などで転倒する危険性があるため、設置場所が大きな問題となりました。それを解決したのが、協和建業株式会社によるオーダーメイドのディスプレイスタンドです。安全性を考慮した設計に加えて、教員からの意見を取

り入れて、教材などを入れる引き出しの寸法も細かくオーダーしました。

多目的ホールにはさらに大きな85型タッチディスプレイを設置

各教室に65型タッチディスプレイを導入すると同時に、2か所の多目的ホールにもタッチディスプレイの導入が行われました。こちらは、より広い環境であることから85型を採用し、さらに学内ネットワークとつなぐことで、より汎用性の高い環境づくりを行いました。



教員の要望を十分に取り入れて特注した専用ディスプレイスタンド。右側は蝶番により壁と固定するとともに生徒が見やすい角度に動かせる。



タッチディスプレイは壁とディスプレイスタンドの両方に繋がれている。ディスプレイスタンドもフックで繋がれており、十分な転倒防止策が施されている。

将来的なICT教育を見据えながらの環境作り

必須ポイント

iPadの画面を大きく表示したい

シンプルな操作性で日常的に使用できる

ネットワークを活用できる環境づくり

成約の決め手

常用のためのシンプルさと、不足のない画面サイズを両立するご提案をいただけたこと。安全性に関する対応も満足いくものでした。

- 名称：目黒星美学園小学校 ● 所在地：東京都目黒区碑文谷2-17-6
- 学長：小島理恵
- URL：http://www.meguroseibisho.ed.jp



目黒星美学園小学校外観



185型タッチディスプレイを導入したミレニアムホール



165型タッチディスプレイを導入した教室



大型ディスプレイを導入した第一音楽教室

ユーザーの声：

**情報機器との向き合い方を学ぶ
ICT教育のための環境作り**

以前より iPad を活用した ICT 教育を進めていました。きっかけは、試しに導入した数台の iPad を子どもたちが実に面白く活用したことからです。一つの例ですが、iPad を手にした子どもたちには地図アプリが人気でした。すると、子どもたちは白地図が欲しいと言い出しました。白地図を手にとると、子どもたちはそこへ都道府県名を書き込むなど、デジタルからアナログへ学びのフィードバックを始めたのです。ICT 教育の価値に確信を持つと、クラスの人数分にあたる 40 台の iPad を導入することになりました。



ICT教育に力を入れている
教頭の田中一郎様

そして今回、ICT 教育のアプローチの一つとして大型タッチディスプレイを導入しました。シンプルに違和感なく使えて、使い方に制限がなく現状の環境で最適なものが導入できたと思っています。

ICT 教育については環境を整えるだけでは十分ではありません。ICT 教育について、「何ができるか」と聞かれることがあります。しかし、「何をしたいか」の方が重要です。その希望に対して、ツールを提案できる環境にあること、そしてお互いが情報をシェアして解決していけるアイデアが出れば、良い授業形態が生まれると思っています。そのためには環境とスキルが必要です。

タッチディスプレイの特徴であるホワイトボード機能を積極的に活用する教員が増えました。人気のある使い方は、iPad 画面を写し出し、その上から子どもの意見を書き込み黒板と併用する方法です。タッチディスプレイには、まだまだ効率良く便利な機能があるので、子どもたちが喜ぶ授業のデザインに注力する教員が増えることを期待しています。また、

iPad、ディスプレイ、ネットワークという三本柱を整えたことで、様々な研修会に行く教員が ICT 教育をイメージしやすいというのもメリットとして大きいと思っています。

環境を整えた現在は、いわば入口に立った状態です。情報機器に支配されるのではなく、ライフスタイルをベースに情報機器を活用する。そんな力を養う小学校の現場として、子どもと共に学びあえる場になればと考えています。

お問い合わせ

ICT innovation by
Densys
 電子システム株式会社
<http://densys.jp>

首都圏支社
 東京都武蔵野市中町1-4-4
 スクウェア三鷹3F
 ☎0422-60-5155

東海支社
 愛知県名古屋市中区昭和区御器所3-2-5
 ☎052-872-0505